



ほごしや
保護者のみなさまへ

こうちょう じゅんこうちょう
校長・准校長だより

令和6年2月21日 No.10

大阪府立西浦支援学校

校長 山崎 彩

准校長 鈴木 亮彦

校内におけるぶどう栽培を通じた学習の実施に向けて

本校では、今年度、大阪府教育庁からの支援を受け、校内でのぶどう栽培に向けた環境整備を進めています。本プロジェクトは、地域の名産である「ぶどう」の栽培をとおして、「地域に根差した学校づくり」「地域の教育資源の活用」「小中高一貫したキャリア教育の実践」「進路支援の充実」等を目指したプロジェクトです。大阪公立大学様、大阪府立環境農林水産総合研究所様、農業大学校様からも技術面を含めたサポートをいただいております。地域を含めた様々な方の思いを乗せてプロジェクトは始動しています。



本校の農業に関する学習としては、土耕栽培と水耕栽培を実施していますが、そこに新たにぶどう栽培が加わります。3つの農業に関する学習をどのように体系化して各部署で授業を実施していくかについて、検討を進めています。



次年度以降は、校内でのぶどう栽培実習に加え、近所のぶどう農家の協力を得ながら校外実習を行っていく予定です。先日、環境整備としてぶどう栽培用のビニルハウス棟を新たに設置しました。実際にぶどうを収穫して販売をするのは数年先になりますが、どうぞぶどうの成長とともに、学習の成果にもご期待ください。
(関連ブログアドレス): [ビニルハウス完成・行事報告 \(osaka-c.ed.jp\)](http://osaka-c.ed.jp)

「依存症」について考えてみませんか

近年、「ネット依存」「ゲーム依存」など、中高生以下の依存症が増加していると言われております。依存症とはやめたくてもやめられない状態に陥ることです。生活リズムや健康に影響を及ぼすだけではなく、家族や友だちとの交流よりもゲームを優先してしまうことで、対人関係面にも問題が現れることがあります。

依存症には大きく分けて2種類あります。「物質への依存」と「プロセスへの依存」です。

「物質への依存」 : アルコールや薬物といった精神に依存する物質を原因とする依存症状のことをさします。依存性のある物質の摂取を繰り返すことによって、以前と同じ量や回数では満足できなくなり、次第に使う量や回数が増えていき、使い続けなければ気が済まなくなり、自分でもコントロールできなくなってしまいます(一部の物質依存では使う量が増えないこともあります)。

「プロセスへの依存」 : 物質ではなく特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめりこんでしまう症状のことをさします。

どちらにも共通していることは、繰り返す、より強い刺激を求める、やめようとしてもやめられない、いつも頭から離れないなどの特徴がだんだんと出てくることです。

大切なのは、事前にお子様と一緒に明確なルールを決め、そのことを守っていくようにすることです。ルールはお子様とは話し合いながら(確認しながら)、守れそうな範囲で設定する、また守れた時は褒めることで、ルールの定着を進めることができます。

依存症は誰もが発症しうるものです。特に子どもは、将来のことを考える力、自身をコントロールする力が発達途上にあるため、周囲のサポートが不可欠です。早期に対応し、対象物への執着を防ぎうまく関わるようにすることで、ゲームや動画視聴等は日々の余暇やリフレッシュのアイテムになります。お子様と一緒に考える機会を持っていただくと幸いです。